

プログラム活動レポート

～太極拳研修～ 「荒尾の太極拳グループと交流してきました」



な刺激を受けました。今後の練習の励み、また目標にもなりそうです。とても貴重な体験ができました。

途中、2015年7月に世界文化遺産に登録された万田坑に立



ち寄り、見学してきました。予報的中の雨を恨めしく思いながらも、明治の日本の産業革命を担った、往時の炭坑の活気を思い、その苦勞を偲びました。ガイドさんから、教科書に載らないエピソードも聞くことができ、印象に残る一日となりました。

(宇都宮)

【太極拳】

毎週水曜日 初心者午前10時～11時30分 上級者午後1時～3時 場所：久木野総合センター (体験OK)

私たちが教わっている太極拳と同門の教室が荒尾市内にあります。練習日が同じということもあり、こちらから、その練習に加えてもらう形で、4月26日(日)エポック荒尾(働く女性の家)に出向き、14人が交流に参加してきました。長く続けておられる方がほとんどです。一緒に出来るところは参加して、あとは見学させていただきました。

場所を変え、視点を変えての練習に、いろん



プログラム活動レポート

～熊本地震復興支援～ 「沖田孝司(ヴィオラ)&沖田千春(ピアノ)コンサート」(クラブ南阿蘇後援)



以前に一度、南阿蘇でコンサートを開いて頂いた広島市在住のヴィオラ奏者沖田孝司様よりご連絡があり、4月28日に阿蘇に来られるということ。「熊本地震で甚大な被害を受けた南阿蘇のことがずっと気になっており、少しでも皆さんのお力になりたい。可能であれば、私のヴィオラと家内のピアノでコンサートをさせて頂くとはできませんでしょうか?」と。沖田さんの暮らす広島市安佐北区も3年前、集中豪雨による災害を受け、その際偶然にも、安佐北区のイメージソングを作るという話が進んでおり、その災害のことを一言でもよいので歌詞に生かしてほしいとの声があり、「あさきたのうた」を作られたそうです。



「いとなむ私たち 自然とともにあり そこに暮らすわたしたち 友とともにあり」という部分がその思いです。この音楽の力で、少しでも南阿蘇を元気にしたいという思いから今回ボランティアでコンサートを開いて頂くこととなりました。

4月28日温泉センターウィナスで夕方5時半に開演。温泉客の方々やクラブ南阿蘇会員の方々がたくさん集まってくれました。生の素晴らしい演奏に魅了され、沖田さんのトークに笑いあり、また一緒に歌を歌ったり、そして「あさきたのうた」の歌を「みなみあそ」に変えて会場の皆さんと一緒に復興を願いながら歌いました。沖田ご夫妻のお人柄がとても良く、会場内はやさしい雰囲気の中、ヴィオラとピアノの美しい音色に終始癒されていました。

温かいご支援、誠にありがとうございました。また、ご協力頂いたウィナス様、ありがとうございました。